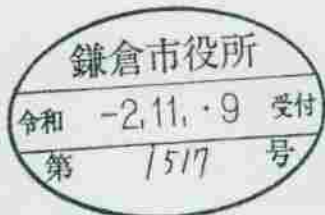


景観配慮協議申出書

2020年 11月 9日

(宛先) 鎌倉市長



住所 鎌倉市材木座6丁目17番19号  
 届出者 氏名 宗教法人 光明寺  
 代表役員 柴田 哲彦  
 電話 0467 (22) 0603  
 住所 鎌倉市材木座6丁目18番16号  
 代理人 氏名 大成建設(株) 横浜支店  
 電話 090 (5344) 9128

〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	21 公共公益施設地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	鎌倉市材木座6丁目18番16号	
	氏 名	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 柴田 雅	電話 0467 (38) 5581
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市材木座六丁目854番	
	用 途 地 域	市街化調整区域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( <input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区 ) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	2020年 12月 25日	完了予定 2028年 6月 30日

(裏)

建築物の概要	用途	素屋根（重要文化財 光明寺の保存修理作業の為の覆い屋根）				
	最高の高さ	25.1m	階数	地上 1 階	地下 階	
	構造	鉄骨造				
	敷地面積	12988.0㎡				
	建築面積	1710.7㎡	届出以外の部分	㎡	合計1710.7㎡	
	延べ面積	1710.7㎡	届出以外の部分	㎡	合計1710.7㎡	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽		m	<input type="checkbox"/> その他	m
	色彩の変更部分とその面積	面積 ㎡				
仕上材	屋根	折板 (7R合金メッキ鋼板)	色彩	屋根	5.9R 2.5/0.6 (濃茶)	
	外壁	メッシュシート(ホリステル)		外壁	N6.8 (グレー)	
開発行為の概要	開発区域の面積	㎡				
	行為の目的	分割 ( 区画 ) (最小区画面積 ㎡)	その他 ( )			
	行為の内容	切土 ( ㎡)	盛土 ( ㎡)	その他 ( )		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	西側を材木座海岸、東側は崖上に第一中学校、南北が住宅地といった立地。閑静な地域である。
まち並みの連続性	西側を海、東側は崖、南北は住宅地。その中の寺院という事もあり、まち並みの連続性は希薄。
周辺建物のデザイン	和風と洋風が混在している。住宅は落ち着いた色彩の外壁が多い。
眺 望 景 観	計画地東側の崖上に展望台があり、相模湾を一望することができる。
景 観 資 源	計画地境内の建築物は歴史があり趣がある。総門は鎌倉市の文化財に指定されている。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	○	本堂全体を覆う設備の為、可能な限りコンパクトに纏める。
形 態 意 匠	○	奇抜な形とする事は避け、作業員の出入口も参拝客から直接見えないように配置する。
色 彩	○	屋根の色は、 <del>対象建築物同様、緑色</del> 、周辺の樹木と調和するように考慮した。外壁面は目立たぬようにグレーとした。
建 築 設 備	○	資材搬入用のホイストクレーンを設置するが、参拝客からは、見えぬ位置に設置する。
外 構 緑 化	○	境内の既存樹木により、緑化率に大きな変化はもたらさない。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		



工場跡  
 神奈川県鎌倉市材木座町6-17-19



20 / 00 1 / 6000 100.11	A-09 100.11
100.11 100.11 100.11 100.11	100.11 100.11 100.11 100.11

# 重要文化財 光明寺本堂保存修理 仮設・解体工事



屋根塗装色 5.9R 2.5/0.6 (濃茶)

折板

メッシュシート  
塗装色 N68

仮囲い  
万能鋼板 H=3m

ステップ

既存堀

▽RFL (水下)  
GL+16900

▽2FL  
GL+12080

▽GL+3950

▽GL±0

12950

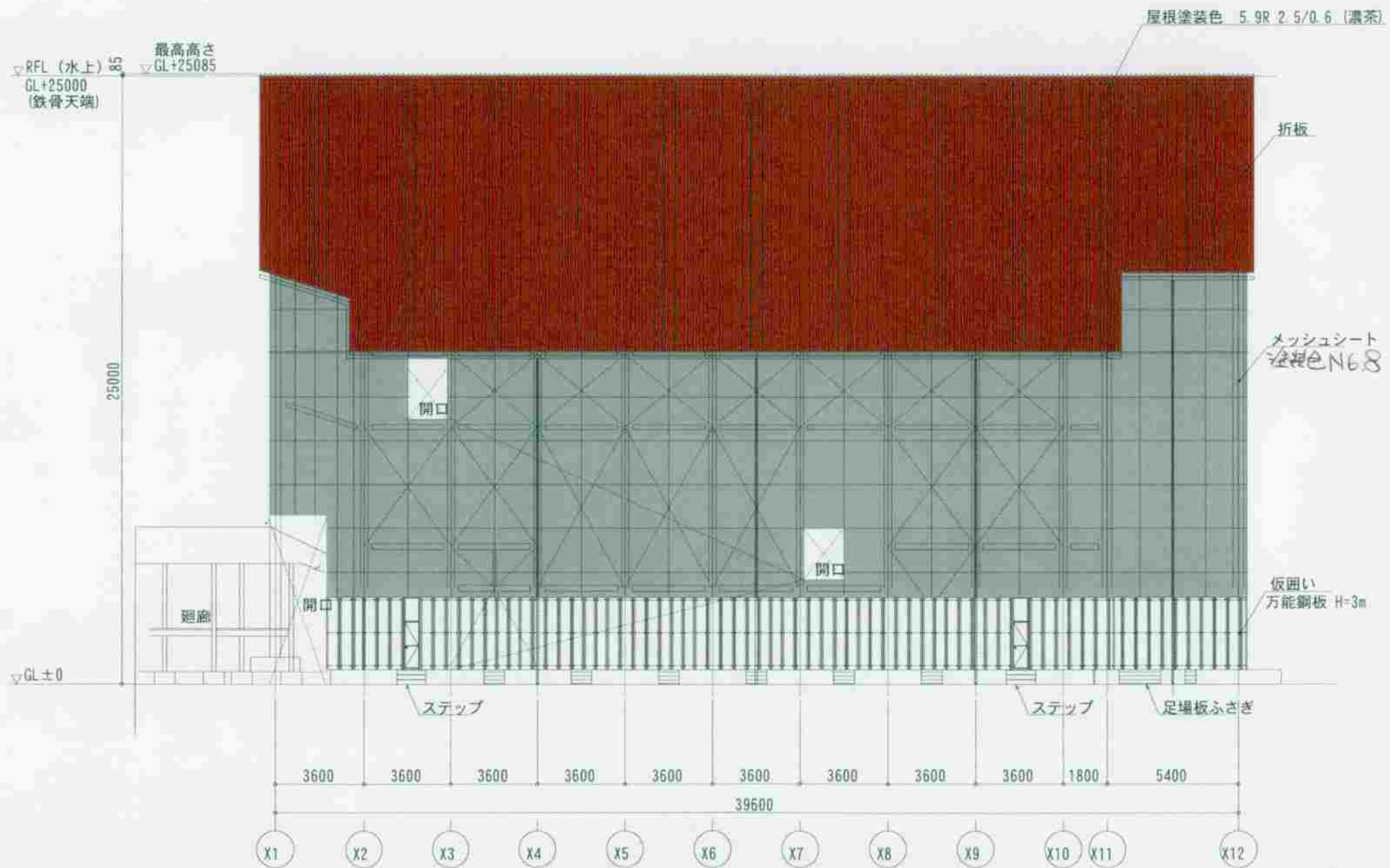
3950

5400 1800 3600 3600 3600 3600 3600 3600 3600 3600 3600

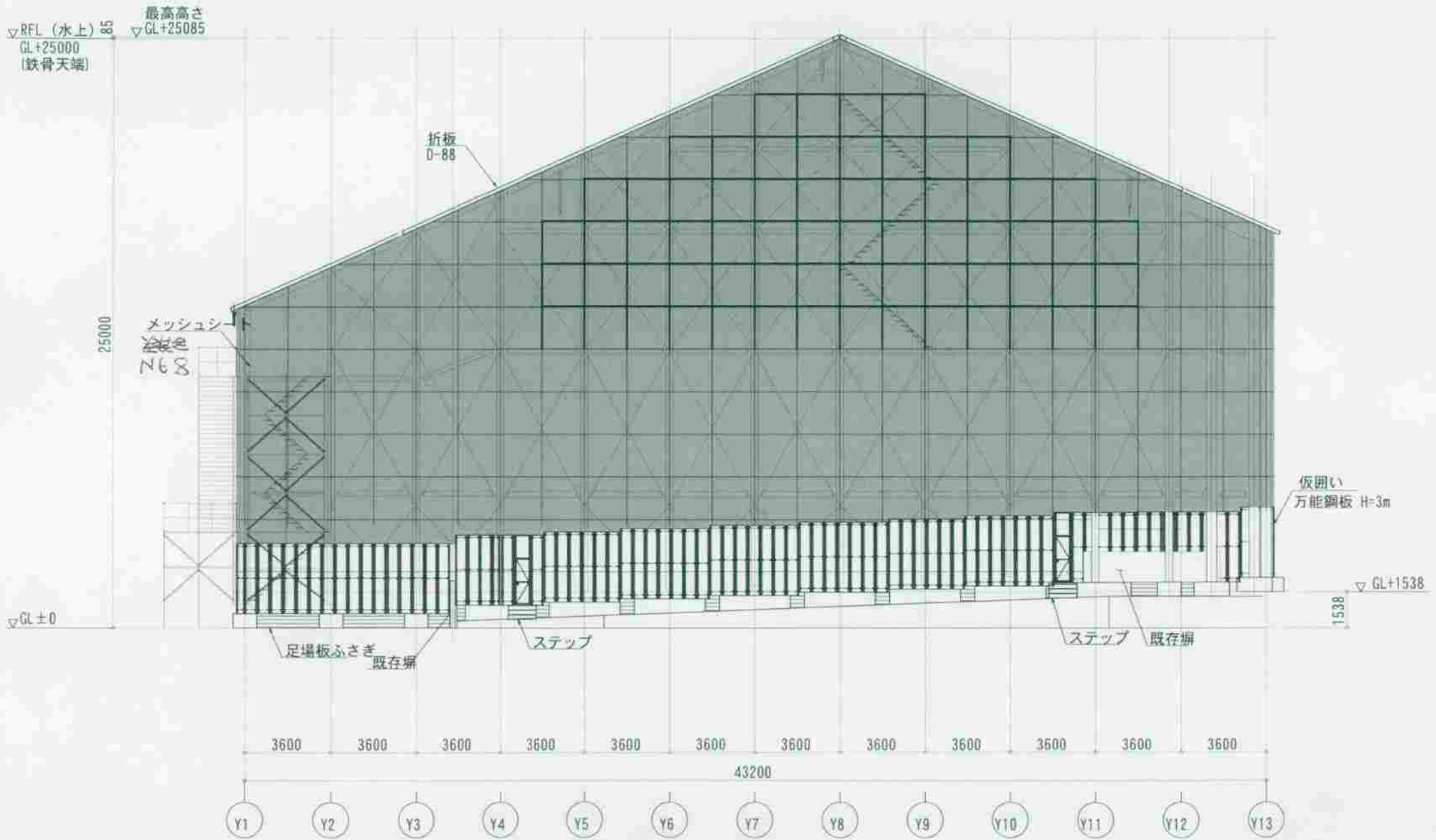
39600

X12 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1

東側立面図

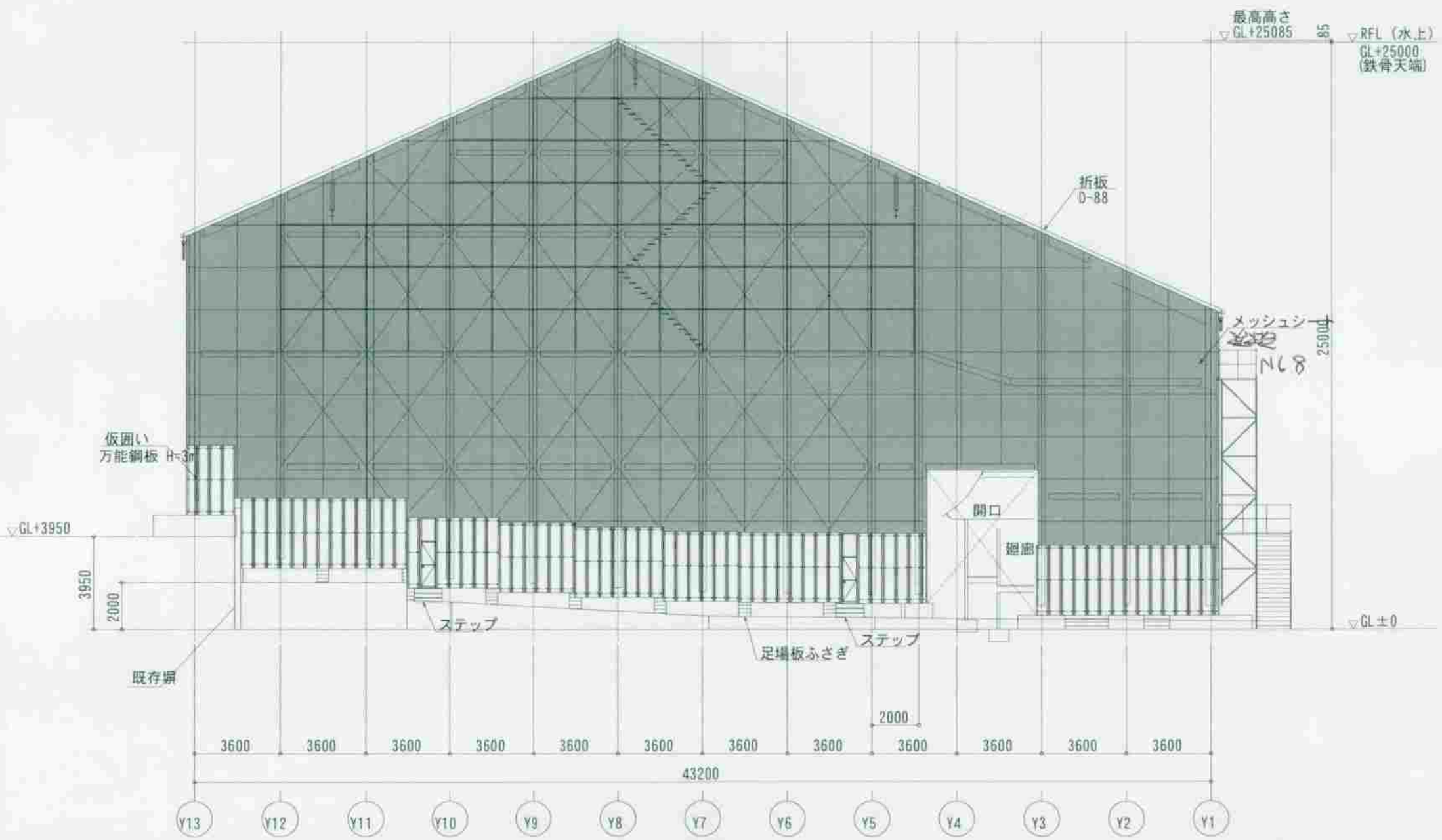


西側立面図

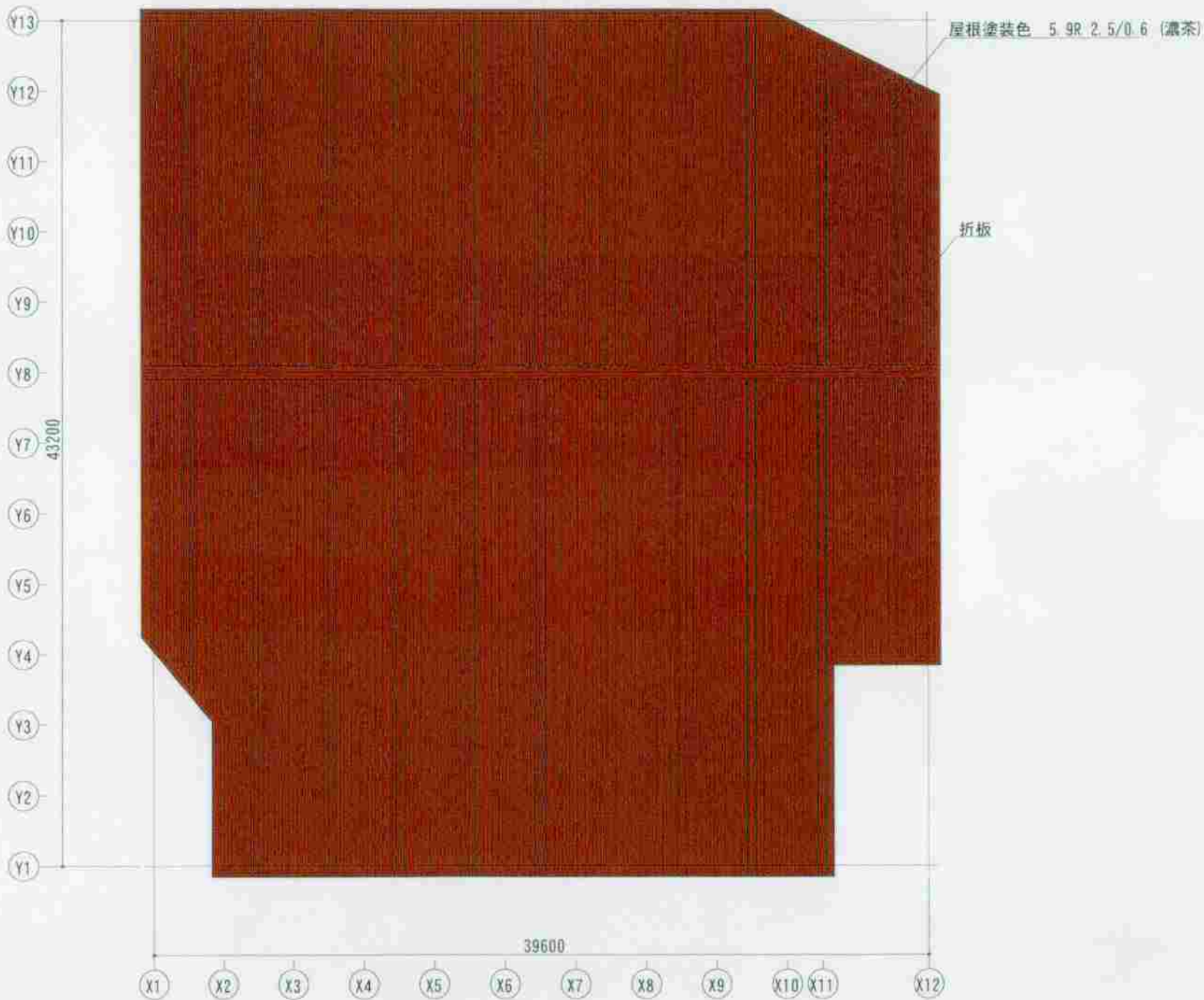


南側立面図





北側立面図

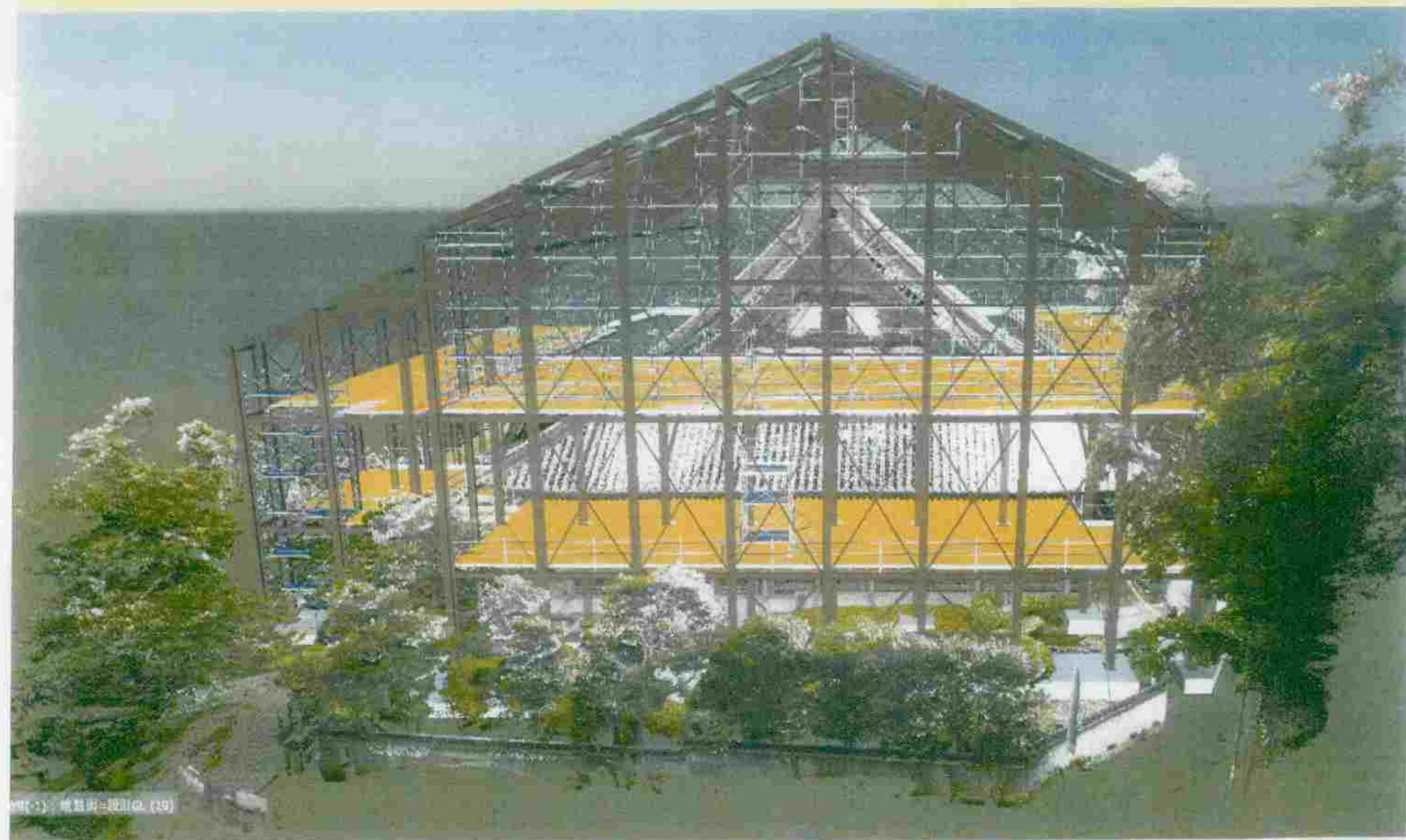


屋根伏図

# 素屋根内観(西面)



# 素屋根内観(南面)





写真No 1

撮影位置:  
光明寺  
本堂周囲状況

状 況:  
本堂西面  
解体工事着工前



写真No 2

撮影位置:  
光明寺  
本堂周囲状況

状 況:  
本堂西面  
解体工事着工前



写真No 3

撮影位置:  
光明寺  
本堂周囲状況

状 況:  
境内状況  
解体工事着工前